

岡山大学保健環境センター公開講演会のご案内

“ナノ”インパクト

ナノ材料の拓く未来と環境リスク評価

開催日時 / 平成19年6月7日(木) 14:00~16:30

会場 / 岡山大学創立50周年記念館 岡山市津島中1-1-1 (津島キャンパス)

会場ホームページ <http://www.okayama-u.ac.jp/50kinenkan/kinenkan-index.htm>

交通 / 岡山駅から岡電バス「妙善寺」行き乗車、岡大西門前下車、駅西口から岡電バス「岡山大学・理大口線」乗車、岡大西門前下車
※できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

主催 / 岡山大学保健環境センター環境安全部門 協賛 / 岡山地区高分子懇話会、ナノカーボン複合材料研究会

プログラム

(14:00~14:05)

①「挨拶」

岡山大学保健環境センター副センター長 山本 晋 先生

(14:05~14:20)

②「人類社会の持続的進化をめざして」

岡山大学学長 千葉 喬三 先生

(14:20~15:20)

③「ナノ材料のリスク評価とリスク管理」

(独)産業技術総合研究所化学物質管理研究センター・研究員
小林 憲弘 先生

(15:30~16:30)

④「ナノカーボン材料が拓くナノテクノロジー」

(独)産業技術総合研究所ナノカーボン研究センター長・
NEC特別主席研究員・名城大学教授 飯島 澄男 先生

参加費無料・参加申込不要

一般市民、学生、大学関係者どなたでも自由に参加いただけます。

問合せ先 岡山大学保健環境センター / 高口 豊
E-mail: yutaka@cc.okayama-u.ac.jp 電話・FAX: 086(251)8903

6月は環境月間です。

趣旨説明：

最近、「ナノテクノロジー」という言葉をよく耳にしますが、そうした、ナノテクノロジーは、私たちの生活や環境にどのようなインパクトを与えるのでしょうか？岡山大学保健環境センターでは、そうした「ナノ」の世界にスポットを当て、『“ナノ”インパクト：ナノ材料の拓く未来と環境リスク評価』というタイトルの講演会を企画しました。ナノテクノロジーを支える材料のリスク評価の最前線を知り、また、ナノ材料開発により見えてきた未来技術を知ること、私たち人類が、幸せに暮らす上で、リスクをどう管理し、より良い技術を求めて行くのがよいのか、考えるチャンスにできればと思います。

講師略歴等：

飯島澄男 先生

(独)産業技術総合研究所ナノカーボン研究センター長、NEC特別主席研究員、名城大学教授

飯島澄男先生は、カーボンナノチューブの発見者として著名な研究者で、日本人のノーベル賞候補者として知られています。主な受賞歴は、ベンジャミンフランクリンメダル 物理学賞(2002年)、日本学士院賞・恩賜賞(2002年)、文化功労者(2003年)、米国炭素学会 科学技術功績メダル(2004年)などです。

小林憲弘 先生

(独)産業技術総合研究所化学物質管理研究センター 研究員

小林憲弘先生は、化学物質のリスク管理に関する研究、特に、工業ナノ粒子のリスク管理について精力的に研究を進めておられる新進気鋭の研究者です。産業総合研究所化学物質管理研究センターは、現在、工業ナノ粒子のリスク管理について総合的な研究において日本をリードしており、最先端の研究を支えるメンバーの一人です。